

第2回鏡野町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成28年10月28日（金曜日）
午前10時開会 午前11時40分閉会
- 2 会 場 ペスタロッヂ館 特別会議室
- 3 出席者 町長 山崎 親男
教育委員長 定久 正義
教育委員長職務代理 石原 昭和
教育委員 佐古 庸二
教育委員 小椋 潤二
教育委員 宗川 万喜子
教育長 年岡 康雄

(事務局関係)
総合政策室長 戸田 治
学校教育課長 宗森 妙子
総合政策室主任 草苺 周作
- 4 協議事項 (1) 保育園・幼稚園の今後のあり方と名称等について
(2) その他

5 会議の経過及び発言

○開会

○山崎町長あいさつ

○定久教育委員長あいさつ

○協議事項

議事録署名については、町長と教育委員長が行うこととなった。

(1) 保育園・幼稚園の今後のあり方と名称等について

山崎町長 失礼して着座のままで進めさせていただきます。議題(1)保育園・幼稚園の今後のあり方と名称等について事務局の説明をお願いします。
(事務局資料説明)

山崎町長 　　ただ今の説明について補足するような事があれば。
　　無いようでしたら、この答申に明記されている鶴喜保育園、香南保育園について、当面現状のまま存続するという事であるが、これからについて、一步踏み込んだ形で議論をして行く必要があると思うが、今、香南、鶴喜は増えているのか。

宗森課長 　　鶴喜は、今は定員以下です。
年岡教育長 　　香南が定員40に対して46名。鶴喜については定員以下です。
山崎町長 　　どちらも園舎が古くなっている。
年岡教育長 　　特に鶴喜の方がそろそろ改修が必要です。壁に亀裂等がありますし、園児用のグラウンドが非常に狭い。

戸田室長 　　これからの園児の人数を見ていく必要があるが、建物が30年以上経過していると思うので、大幅な改修か、移転で整備をするのか。
　　園庭を広げるとなると、今の場所では広げる事ができないので、そういう事も考慮しなければならないと思う。

山崎町長 　　いずれにしても、鶴喜については、改修が必要となるという教育長の説明もあったが、将来的なビジョンということについては、改修とは別に考えることがいいと思う。

年岡教育長 　　答申にあるように、鶴喜保育園、香南保育園については園児数の減少に伴い、新しくできるこども園との統合も視野に入れて考えるとのことなので、今後、簡易改修で対応するのか、町としての方針を出す必要がある。
　　今後新しく整備する保育園が今の定員90から130に大幅に増えると、今の香南の園児が全て大野に行くことも可能になるので、将来香南の大規模修繕を検討する際には統合も視野に入れる必要があると思う。ただ鶴喜と香南の集約園児を全員大野に入れることはできない。
　　今、年間で100人出生していない。その内、津山や美咲等に子供達が出ていっている。10人くらいか。

宗森課長 　　津山、美咲などの広域と言う意味では、27人です。毎年20人以上は他の自治体の保育園に行っている。
山崎町長 　　逆に、鏡野町に広域から来ているのは。
宗森課長 　　最近は少なくなってきたが、10人未満です。
山崎町長 　　鏡野町に住み続けたいという人や、住みたいという方の声が多いということ踏まえても、大野地区や芳野地区の子供が減るという事にはならないと思うが、他の地区については、そのようなニーズが今のところ少ない。
　　保育園は小学校と違って学区を指定していないので、仮称大野保育園が出来たら、そこに園児が動くという事も考えられる。
　　来年の4月に開園し、その状況を見ながら判断をしてもいいのではないかと。

戸田室長 11月に、来年度の入所、入園の申し込みが開始される。

年岡教育長 町のホームページには掲載済み。

戸田室長 その申し込みの状況を見れば、ある程度状況がわかると思う。

年岡教育長 町の方針として、待機児童を作らないという大方針のもとで園を運営しているが、皆様もご存じのとおり大きな課題がある。

施設があっても保育士がいないと言う事。

園児の定員に合わせた保育士の配置をしなければならないが、現実的に足りない状況の中で、何とか保育士の頑張りでまわしている。

ハローワーク等にも臨時保育士の募集をしているが、ほとんど声はない。

山崎町長 正規職員の応募状況は多いか。

年岡教育長 少ない。

宗森課長 他の町より少ないと、総務課から聞いている。

年岡教育長 保育のニーズが大きく変わり、0歳児保育が始まってからは、非常に厳しい状況にある。

施設はあるが人が少ない。少ないから預かれない現状がある。

山崎町長 県内の市町村長からもそのような状況を聞く。

戸田室長 今回初めて協議した訳ではありますが、保育園施設改修については、今後出てくると思います。

特に鶴喜、香南が30年近く経過した中、簡易修繕はしているが、根本的な所の議論は今後必要となるので、状況を見ながら引き続きこの会議の中でも検討をお願いしたい。

山崎町長 その他意見があるという方はお願いしたい。

定久委員長 新しい保育園が出来れば、また一般開放もあると思うので、その時にしっかり見てもらいたい。

年岡教育長 今は小学校へ繋げていくための就学前教育の場として保育園が幼稚園機能を大きく求められている。

基本的に地域の保育園から地域の小学校へという事が保護者のニーズであり、各保育園を維持し、小学校へ連携していくのが教育委員会としてベター。

子供達の数が年々減っていく中、保育も集団で子供を育てるという狙いがあるので、ある程度の規模が必要。

現状で香南保育園、鶴喜保育園は、今統合へという時期では無いと考える。

山崎町長 今後議論を詰めて行くと言う事でよろしいか。

石原職務代理 施設関係については、町長が言われた方向でいいと思う。

ただ、保育士不足はかなり心配がある。特に特効薬は無いだろうと思うが、人員確保をお願いする。

応募が無い原因の一つは給与面が他町村と比べて安いのではないかと。

年岡教育長 臨時職員の場合、給与は2年目上がって、次6年目まで上がらないが、手当で対応している。

賃金ベースは、周辺と比較して決して安くはない。

逆に高いくらいの自負はあるが、やはり労働と対価との絡みの中で、臨時職員は、正職員の半分以下。

人員確保は高い給与で募るという事は考えられるが、町の運営上の経費の問題が発生することから難しい。

宗森課長 臨時職員の保育士の場合、正職員とほぼ同等の仕事をしている。

他の自治体では、担任を持たせないなど業務に差があるが、鏡野は正職が少ない為、臨職が正職と同等の仕事をするが賃金は低いという辺りがネックではないかと思う。

石原職務代理 例えば、担任手当などの対応は可能か。

年岡教育長 手当というのは、今、削減する方向で進んでいる。新設というのは難しい。

基本給アップ的な部分で対応していくのが現実的。

やはり臨時職員が正規職員と同等の業務をする事がネックだと思う。

保育士不足として、保育士の出産休暇、育児休暇等もあるで、在籍はしているが数年間の実体は無いという状況もある。

国は、同一労働同率賃金を勧めており、鏡野町としても率先してそれに近づけていければいいのだが。

定久委員長 保育士賃金について、国が4万円上げて行くとの話題が出ているが、半分くらいは町が負担するのか。

戸田室長 民営の保育所に対しての補助金措置であり、公設の鏡野町には補助は無いと思います。

年岡教育長 保育園の補助金が県からあるのでは。

宗森課長 運営補助はありますが、対象は私立です。

戸田室長 公設は、交付税措置となります。賃金について上げるなら、町独自でしなければならないと思う。

年岡教育長 正規職員の保育士給与については、行政職1という、事務職員と同じ給与表を使用しており、国が言う保育士の賃金が低いという部分には該当しない。

国が4万円あげるから、4万円上げるということはできないと思う。

また、町の定数条例があるので、保育士を多く増やすと、一般事務職を減らすなど調整する必要がある。

基本的に国が保育料の基準を決めているので、給与を上げる事は歳出が増え、町の税金を持ち出すという事になるので、皆さんの理解を得る必要がある。

佐古委員 今言われた実態が、保育園の職員や臨時が増えない大きな原因だと思う。

石原職務代理 保育園の統廃合は先送りにしても、まず園長をはじめ、園長代理や主任保育

士がいい流れで運営することが必要。

若い方が園長になることは悪い事ではない。新しい保育方針を出してくれればいいのでは。

年岡教育長 今、正規職員を年間2、3人安定して雇用し徐々に増えている。

山崎町長 近々の課題ですので、この保育園の職員の件は、適正管理の協議をしていきたいと思います。

ではこの件は次回以降も協議という事でお願いをしたいと思います。

次に保育園の名称についての協議に入ります。

(事務局資料説明)

山崎町長 ここに7つの名称案を提案させていただいたが、どれがいいか。

佐古委員 認定が付くのと付かないのは、どんな違いがあるのか。

年岡教育長 県に確認したが、名称に認定を付ける必要はなく、認定が付かないといけないという事はない。

山崎町長 認定を付けているのはなぜ。

年岡教育長 認定こども園とは、保育園機能と幼稚園機能を両方持っているのが、認定こども園です。アピールのために付けている所もある。

佐古委員 どちらでもいいのか。

年岡教育長 どちらでもいいとの事なので、この7つが名称の案として上がっている。

定久委員長 鏡野町は、保育所型のこども園を狙っていると思うが。

宗森課長 そうです。

定久委員長 名称に保育園という言葉がなくなり、こども園と名称を変えた場合、芳野保育園も合わせて名称変更を考えるのか。

戸田室長 芳野と付けた経緯もある。また新しく建てた場所が同じ場所だから、同じ名称だったと思う。

今回は、まったく違う所に整備するので、変わってもいいのではないか。

同じ形態の運営なので、芳野も名称変更するのも一つの方法だと思う。

定久委員長 芳野も今変更しなくても、将来的には保育園を取ってこども園にした方がいいのではないか。

同じ中身でありながら、一方は保育園、もう一方はこども園と言うのも、おかしいので、こども園で統一してはどうか。

年岡教育長 郷幼稚園は昔50人で、今33人に減ってきている。おそらく芳野に流れたと思う。

保育園は学区が無いので、例えば奥津や富から新しい機能や施設の大野の方に行く事ができる。

しかし、郷幼稚園がすごく良いと言われる方も沢山いらっしゃるので、郷幼

稚園がすぐに、少なくなることは、現実的には考えにくい。

将来的に、郷幼稚園が何人になったら芳野と統合するような方向性は検討する必要があると思うし、地元の意見も聞きながら考えていく事がいいのではと思う。

定久委員長 初め中央と聞いた時はどうかと思っていたが、大野地区のみなさんが承知されているならば、中央という言葉を使うのは問題ないと思う。

こども園に、認定を付けるか付けないかの話では。

認定がなくても、法的な扱いは大丈夫か。

宗森課長 確認しておりますので、大丈夫です。

定久委員長 とすれば、短い方がいいのでは。

佐古委員 その、中央という名称について教えてもらいたい。

地域名を使っている芳野に対して、中央でいいのか。

年岡教育長 芳野は、元々芳野保育園があった場所に整備した訳で、あえて名前を変えることはしなかった経緯がある。また地域としても、芳野保育園が新しい機能を持った認定保育園になっただけで名称は変えていない。

戸田室長 補足で、現在工事を進めている保育園の場所は、現保育園と近いが大野地区でなく沢田になり、香南地区になる。

佐古委員 大野地区にあると思っていたので、中央という名称に違和感があったが、納得した。

定久委員長 それなら、私はひらがなの1番がいい。

山崎町長 他に意見は。

石原職務代理 1番は短くて、ひらがなで、親しみやすい。

山崎町長 では1番というところで、よろしいか。

石原職務代理 名称は、この総合教育会議で決定するのか。

戸田室長 名称は地区長と、この総合教育会議の意見をいただき、最終的には議会承認をもっての決定となるので、これで決定ではない。

山崎町長 では、名称等については、1番とさせていただきます。

(2)のその他で、みなさんから何かございますか。

事務局から何かあるか。

戸田室長 ありません。

山崎町長 それでは、他に議事は無いようでありますので、進行をお返しいたします。

戸田室長 それでは、5のその他、何か取り上げることはございますか。

年岡教育長 1つお話したい件が。

上齋原小学校、幼稚園の状況についてですが、幼稚園は、保育園幼稚園のありかた委員会の中で現状通りの定員の中で進めている。

無くすということではないが、現実的な問題で、上齋原幼稚園は、今現在園

児2名。来年度も2名か3名。その次は無い予定。

幼稚園の適正規模からして、適正規模ではないが、地域の子供達にとっては大切な場所ですし、上齋原学園という一貫性の中からも引き続き継続したいと思うが、どのあたりまで幼稚園として継続するべきか、みなさんの意見を聞かせていただきたい。

定久委員長 先日訪問した時に2人の園児に対して先生が3人。

また将来の状況を聞き、今後増えそうにない。

町の保育園全体からすれば、職員不足という状況から臨時職員を委託することもあり課題を抱えている中ではあるが、幼稚園を無くすのではなく、保護者の判断で他の保育園に行きたいのであれば行ってもらって、残った子供の保護者と今後の対応を話してはどうか。

年岡教育長 また、小学校の児童数が少なくなっている状況の中で、区域外就学を望む保護者もいるので、今後、上齋原学園自体がどうなっていくかという問題も発生している。来年5人卒業して1人入学し、子供の数が12人になる。

これが当面12、13人で平成32年まで続き、教頭加配が無い状況の学校になる。これは、他の保育園、小学校に行きたいと思っている方も含めての人数ですから、非常に厳しい状況が続く。

教育を受けさせたい保護者の権利もあるので、教育委員会としては、区域外就学を否定できない。

そういう課題がある事を委員にお伝えする。

佐古委員 教頭加配はいつから。

年岡教育長 29年度から。

定久委員長 他の小学校に行きだしたら、その流れで行くようになるかも。

年岡教育長 学区を超えての就学希望は、来年度は無くても将来予想される。

また、上齋原幼稚園に園児がいない場合は、休園という形で維持することはできるが、幼稚園教育を果たしているかは疑問。

佐古委員 校長を園長に兼務させる理由に、教頭を置くという事は。

年岡教育長 それは、理由にならない。

また全校児童数が14名以下になるので、県から養護教諭が配置されない可能性がある。

佐古委員 いつから。

年岡教育長 来年です。

佐古委員 教頭もいないのか。

年岡教育長 教頭は配置する。教頭に授業を担当させ、教員を減らす。

佐古委員 いずれにしても、上齋、富も地域の人口が少なくなっているなので、子供が増える施策を町長にお願いしたい。

石原職務代理 緑のふる里協力隊の方が、活動後も移住している方もおられるので、そのような形で若い方も来ていただければ移住していただけるのではないかと。

年岡教育長 今後また相談させていただく事があると思うので、よろしく願いしたい。

○閉会あいさつ 石原教育委員長職務代理